

▣ 銘柄: NVDA (NVDA)
▣ 日時: 2026-01-16 16:00 America/New_York
เหรียญ 現在値 : 186.23
เหรียญ 前日終値: 187.05
▣ 前日比: -0.82 (-0.44%)
※『MACD マイナス許容』設定: 無効

基本テクニカル分析 (MACD と RSI による評価)

☑ MACD: 0.5859 / Signal: 0.7034
▣ RSI: 52.06
⚠ MACD が Signal を下回る状態が継続 → 弱含みトレンドが継続中
○ [基本スコア:0] RSI・MACD ともに中立 → スコアなし
☒ スコア調整値(0.0) = スコア(0) × Weight(2.0)

▣ 総合スコア: 0.0 (4.0~−4.0) の範囲

トータルスコア (スタンス: Holder)

→ 判定: ⚡ 買い気配 スコア比率 +0%

買い+100%[.....|.....] −100% 売り

== LLM Response by gpt-5.2 ==

要点 (ニュース+テクニカル)

- **移動の弱さ**: 終値 186.23 は前日比-0.44%。
- **方向感**: 指数平滑移動平均収束拡散法 (MACD) がシグナルを下回り、**弱含みが継続**。一方、相対力指数 (RSI) は**52.06 で中立**。
- **材料面**: アナリスト評価・目標株価言及、対中関連 (規制・供給) など“株価を動かしうる”見出しが複数。短期はニュースで振れやすい。

1. 投資家が注意すべきポイント (400字以内)

指数平滑移動平均収束拡散法 (MACD) 0.59 がシグナル 0.70 を下回る状態が継続しており、テクニカルは「戻り売りが出やすい地合い」。ただし相対力指数 (RSI) 52.06 は中立て、過熱感も投げ売り局面も示していません。材料面では、対中販売・供給制約

(メモリ不足等) や規制関連の報道が出ると、トレンドが弱い局面では下方向に反応しやすい点に注意。逆に強気レーティングや上方修正系の報道が続く場合は、弱含みの中でも短期反発のきっかけになり得ます。

2. 1週間の短期目線（200字以内）

短期は**MACD<シグナル**が続く限り上値は重め。基本はレンジ～弱含み想定。反発シナリオは「MACD がシグナル接近・上抜けに向かう」+「悪材料の追加が出ない」こと。崩れは「MACD の乖離拡大」や対中・供給面の悪化報道が条件。

3. 1ヶ月の中期目線（200字以内）

1ヶ月は中立（RSI 52.06）を起点に、**MACD の弱さが解消できるか**が焦点。改善シナリオは MACD がシグナルを上回り、弱含みから“上向きの流れ”へ。悪化シナリオは MACD 下回り継続で、材料次第で戻り売り優勢が長引く。

4. ニュースハイライト（1000字以内、価格影響情報のみ）

Tier A (一次性・直接性・近接性が高め)

- **41. RBC Capital が NVIDIA を Outperform でカバレッジ開始**（価格影響度：中）

ニュース価値は高いが価格影響は軽微になり得る（理由：評価は織り込みが進みやすい）。

- **27. Rothschild & Co Redburn が評価（見通し）を引き上げ方向**（価格影響度：中）

ニュース価値は高いが価格影響は軽微になり得る（理由：目標・評価変更は短期材料化に留まりやすい）。

- **18/26. 中国向け関連：メモリ不足が中国向け人工知能チップ販売に逆風等**（価格影響度：高）

ニュース価値は高いが価格影響は軽微になり得る（理由：実需・出荷に波及するまでタイムラグがあり得るが、懸念は即時に織り込みやすい）。

- **39. 中国が H200 購入ルール作成との報道**（価格影響度：中）

ニュース価値は高いが価格影響は軽微になり得る（理由：制度設計段階で確度・時期が流動的）。

Tier B (中：二次情報/推計混在、ただし市場が反応し得る)

- **31. Baird が Outperform 継続・目標株価言及** (価格影響度：中)

ニュース価値は高いが価格影響は軽微になり得る（理由：既存評価の再提示は織り込み済みになりやすい）。

- **46. Mizuho が目標株価引き上げ言及** (価格影響度：中)

ニュース価値は高いが価格影響は軽微になり得る（理由：レーティングは短期要因で持続性は限定的）。

- **37. KeyCorp の四半期業績推計** (価格影響度：中)

ニュース価値は高いが価格影響は軽微になり得る（理由：推計は変動しやすく、確定情報ではない）。

- **42. 半導体株上昇 (TSMC 決算・関税文脈) で NVDA 言及** (価格影響度：低)

ニュース価値は高いが価格影響は軽微（理由：個別固有材料より地合い要因が中心）。

- **30. “本日上昇理由” 解説系 (Yahoo Finance) ** (価格影響度：低)

ニュース価値は高いが価格影響は軽微（理由：事後解説で新規性が弱い）。

Tier C (参考：価格影響なし、最大 3 件)

- **04. 強気/弱気シナリオ予想記事** (非採用理由：論評)

- **03. 20 年投資リターン話** (非採用理由：宣伝/回顧)

- **05. 議員の売買ランキング** (非採用理由：周辺話題)

5. 総評 (2000 字以内)

テクニカルの結論は「**中立だが、足元は弱含み継続**」。根拠は、指数平滑移動平均収束拡散法 (MACD) 0.59 がシグナル 0.70 を下回っている一方で、相対力指数 (RSI) が 52.06 と中立圏にある点です。つまり、売られ過ぎの反発シグナルは強くなく、上昇トレンドの確信もまだ弱い局面と整理できます。総合スコアが 0.00 (中立) であることも、方向感がニュースに左右されやすい状態を示唆します。

シナリオ A：短期反発 (条件→行動)

- **条件** : MACD がシグナルへ接近し、上抜け方向へ向かう（弱含みの解消サイン）

／対中・供給制約系の悪材料が追加で出ない。

- **行動** : 新規は「上抜け方向が確認できてから」分割で。保有者は、弱含みが解消しない限りは急な強気に寄せず、ニュースでの急騰局面は一部利確でリスク低減。

シナリオ B：続落・軟調継続（条件→行動）

- **条件**：MACD がシグナルを下回ったまま乖離が縮まらない／中国向け販売・規制・供給（メモリ不足等）の懸念が強まる見出しが増える。
- **行動**：新規は見送り優先。保有者は「戻りが弱い」局面でポジション量を調整し、防御的に。撤退は“弱含み継続の確認”を前提に段階的に。

シナリオ C：レンジ（条件→行動）

- **条件**：RSI が中立圏に留まり、MACD も大きく改善せず悪化もしない／材料がレーティング中心で実需の確定情報が少ない。
- **行動**：短期売買は“ニュース待ち”になりやすい。取るなら小さく、方向が出た側に寄せる。

ニュース面は、アナリストのカバレッジ開始・目標株価変更が複数あり「上方向の心理」を支え得る一方、対中販売・供給制約や規制設計の報道は、トレンドが弱いときほど下方向へ増幅しやすい点が要注意です。現状は RSI が中立のため、過度な悲観にも過度な楽観にも寄らず、「MACD の改善（弱含み解消）の確認」と「対中・供給の見出しの質（一次性・具体性）」を同時に点検するスタンスが合理的です。